教職員のみ

※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和年８度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「情報Ⅰ Flex」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 普段の生活で欠かせなくなっている情報機器の使用について、身近な事例を用いて利便性や危険性を理解してもらい、使用する上でのモラルとルールをしっかり身につけてもらいたい。
- 情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用・利用し、情報を表現・処理できるようになってもらいたい。

2　学習の到達目標

- 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関りについての理解を深めるようにする。
- 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけ、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身につけ、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

教職員のみ

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期（４月～５月）	情報で問題を解決する	情報とメディアの特性 問題解決の流れ 発想法 情報モラル 個人情報の流出 傷つかない傷つけないために	情報とは何かを理解し、問題解決に情報を利用する知識を身に着けている。情報モラルについて傷つかない、傷つけない判断ができ、それら知識を身に着けようという意欲がある。	授業観察 定期考査	授業観察 ノート提出 定期考査	授業観察 ノート提出
	コンピュータを活用する	コンピュータとは何か ソフトウェアの仕組み 文書処理ソフトウェアの操作	コンピュータの仕組みを理解し、文書処理ソフトウェアを適切に操作できる。またそれら知識を身に着けようという態度がある。	授業観察 定期考査	授業観察 ノート提出 定期考査	授業観察 ノート提出 実習参加
前期・後期（６月～１２月）	情報を伝える	デジタルの世界へ 数値と文字のデジタル表現 音と画像のデジタル表現 色と動画のデジタル表現 2進法の計算	アナログとデジタルを理解し、変換するしくみを身に着けている。またそれら知識を身に着けようという意欲がある。	授業観察 ノート提出 定期考査	授業観察 ノート提出 定期考査	授業観察 ノート提出
	コンピュータを活用する	演算の仕組みとコンピュータの限界 アルゴリズムの表現 プログラムの基本構造1 プログラムの基本構造2 表計算ソフトウェアの操作	プログラムについての知識を身に着け、コンピュータ動作の仕組みを理解する。表計算ソフトウェアの操作を適切に操作し、その意欲・態度がある。	授業観察 定期考査	授業観察 ノート提出 定期考査	授業観察 ノート提出 実習参加
後期（１２月～２月）	データを活用する	ネットワークとインターネット インターネットの仕組み サーバとクライアント インターネット上のサービス 情報セキュリティ	インターネットの仕組みを理解し、適切に利用する知識を身に着けている。インターネット犯罪に巻き込まれない態度を身に着けている。	授業観察 ノート提出 定期考査	授業観察 ノート提出 定期考査	授業観察 ノート提出
	情報で問題を解決する	著作権 表計算ソフトウェアの操作 プレゼンテーションソフトウェアの操作	著作権について理解し、法律違反に巻き込まれない知識を身に着ける。表計算・プレゼンテーションソフトウェアを適切に操作できる知識・意欲がある。	授業観察 定期考査	授業観察 ノート提出 定期考査	授業観察 ノート提出 実習参加

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度